

(証券コード6942)

平成29年6月12日

株 主 各 位

東京都新宿区下宮比町2番26号
株式会社ソフィアホールディングス
代表取締役社長 新村 直樹

第42期定時株主総会招集ご通知

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第42期定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席
くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成29年6月26日（月曜日）午後6時までには到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成29年6月27日（火曜日）午前10時
2. 場 所 東京都新宿区下宮比町2番26号
KDX飯田橋ビル4階 第5会議室
3. 目的事項
報告事項
 1. 第42期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第42期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）計算書類報告の件
- 決議事項
 - 第1号議案 株式併合の件
 - 第2号議案 定款一部変更の件
 - 第3号議案 取締役4名選任の件
 - 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <http://sophia.com>）に掲載させていただきます。

(提供書面)

## 事業報告

(平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで)

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が続いているものの、中国の景気減速や英国のEU離脱、米国新政権の政策運営等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き健康医療介護の新たな商品開発を推進する一方、既存のインターネット事業において固定費削減の推進、通信事業において売上を拡大し、堅調に収益を伸ばしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績といたしましては、売上高が3,990百万円（前年同期比11.4%増）となりました。損益面におきましては、営業利益169百万円（前年同期は営業損失161百万円）、経常利益151百万円（前年同期は経常損失192百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益23百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失567百万円）となりました。

事業別の営業概況は、次のとおりであります。

##### [インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発、データセンターの運用・保守及び不動産仲介業者向けA S Pサービスの提供等を行い、売上高は1,870百万円（同5.5%減）となり、セグメント利益は180百万円（同50.2%増）となりました。

#### [通信事業]

MVNO（※1）、FVNO（※2）を中心とした情報通信サービス全般とISP（※3）の企画、開発、運営を行い、売上高は1,807百万円（同92.4%増）となり、セグメント利益は276百万円（同157.9%増）となりました。

#### [健康医療介護情報サービス事業]

病院・薬局向けの薬歴管理・服薬指導業務支援システムの開発・販売・保守、医療情報管理ソフトウェアの販売・保守サービス等を行い、売上高は242百万円（同16.7%減）となり、セグメント損失は94百万円（前年同期は75百万円）となりました。

#### [遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析、遺伝子検査項目の中から特定の検査項目を選択して遺伝子検査サービスを行うことが出来る法人向けASPサービスの開発等を行い、売上高は91百万円（同58.2%増）となり、セグメント損失は74百万円（前年同期は175百万円）となりました。

#### [ECサイト関連事業]

WEBサイトの企画・運営及び管理等を行い、売上高は6百万円（同98.0%減）となり、セグメント損失は6百万円（前年同期は16百万円）となりました。

#### [海外事業]

東アジア圏におけるIT事業等、グループ会社に対して事業機会の提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高は1百万円（同260.7%増）となり、セグメント利益は0百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

（※1）Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

（※2）Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

（※3）Internet Services Providerの略。公衆通信回線などを経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

② 設備投資の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資額は49百万円で、そのうち主なものは、工具器具備品によるものであります。

③ 資金調達状況

特に記載すべき事項はありません。

④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

特に記載すべき事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

特に記載すべき事項はありません。

⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

特に記載すべき事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

特に記載すべき事項はありません。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

| 区 分                                     | 第 39 期<br>平成25年度 | 第 40 期<br>平成26年度 | 第 41 期<br>平成27年度 | 第 42 期<br>(当連結会計年度)<br>平成28年度 |
|-----------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| 売 上 高                                   | 3,286,170        | 3,908,395        | 3,581,652        | 3,990,600                     |
| 経常利益又は経常損失<br>(△)                       | △51,850          | △130,594         | △192,000         | 151,289                       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失<br>(△) | △56,943          | △652,896         | △567,842         | 23,138                        |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失<br>(△)(円)        | △2.82            | △30.61           | △25.94           | 1.06                          |
| 総 資 産                                   | 2,825,138        | 2,872,530        | 2,315,025        | 2,410,658                     |
| 純 資 産                                   | 1,128,020        | 636,808          | 39,654           | 43,019                        |

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

当社の親会社は先端技術研究投資事業組合で、同社は当社の株式14,870千株（議決権比率68.06%）を保有しております。

なお、当社との間に取引関係はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                          | 資本金      | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容        |
|------------------------------|----------|----------|----------------|
| ソフィア総合研究所株式会社                | 49,900千円 | 100%     | インターネット関連事業    |
| 株式会社サイバービジョンホスティング           | 21,000千円 | 100%     | インターネット関連事業    |
| 株式会社アクア                      | 10,000千円 | 100%     | インターネット関連事業    |
| 株式会社ナノメディカル                  | 99,000千円 | 100%     | 健康医療介護情報サービス事業 |
| 株式会社メディカルコンピューターサービス         | 10,000千円 | 100%     | 健康医療介護情報サービス事業 |
| エリアピイジャパン株式会社                | 41,491千円 | 100%     | 健康医療介護情報サービス事業 |
| 株式会社ジーンクエスト                  | 55,000千円 | 90.9%    | 遺伝子情報サービス事業    |
| ソフィアデジタル株式会社                 | 10,000千円 | 100%     | 通信事業           |
| 株式会社オルタエンターテイメント             | 1,000千円  | 100%     | E Cサイト関連事業     |
| SOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITED | 20,205千円 | 100%     | 海外事業           |

(注) 当事業年度の末日における特定完全子会社の状況は、次のとおりであります。

|                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 特定完全子会社の名称                      | 株式会社サイバービジョンホスティング |
| 特定完全子会社の住所                      | 東京都新宿区下宮比町2番26号    |
| 当社及び当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 200,000千円          |
| 当社の総資産額                         | 859,728千円          |

|                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 特定完全子会社の名称                      | ソフィアデジタル株式会社    |
| 特定完全子会社の住所                      | 東京都新宿区下宮比町2番26号 |
| 当社及び当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 201,500千円       |
| 当社の総資産額                         | 859,728千円       |

#### (4) 対処すべき課題

当連結会計年度において、当社グループは業績向上を最優先課題として取り組んだ結果、通信事業等の業績向上により、6年ぶりに親会社株主に帰属する当期純利益において黒字を計上することができました。

当社グループが対処すべき課題としては、以下の点が挙げられます。

##### ① 収益力の安定化と拡大

- ・ 既存事業の安定化
  - － 既存顧客の維持・新規顧客の開拓
  - － 事業ポートフォリオの最適化
- ・ 成長戦略事業の収益化
  - － ビジネスモデルの早期構築
  - － 他社製品との差別化の早期実現
- ・ グループシナジーの追求
  - － 既存顧客に対するグループ商材の販売促進
  - － グループ内のノウハウを集結した新たなソリューション開発・販売

##### ② 財務体質の改善

- ・ 自己資本の充実・有利子負債の削減
  - － 収益力の安定化と拡大による内部留保の積上げ
  - － エクイティファイナンス・事業売却等の検討
- ・ 効率的な資金運用
  - － グループ会社のキャッシュマネジメント
  - － 投資に対するチェックシステムの改善

## (5) 主要な事業内容（平成29年3月31日現在）

| 事業区分           | 事業内容                                                                                                                                                |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インターネット関連事業    | ソフィア総合研究所株式会社、株式会社サイバービジョンホスティング、及び株式会社アクアでは、インターネット関連のシステム開発、データセンターの運用・保守及び不動産仲介業者向けASPサービスの提供等を行っております。                                          |
| 健康医療介護情報サービス事業 | 株式会社ナノメディカル及び株式会社メディカルコンピューターサービスでは、病院・薬局向けの薬歴管理・服薬指導業務支援システムの開発・販売・保守、医療情報管理ソフトウェアの販売・保守サービス等を行っております。また、エリアビイジャパン株式会社では、セキュリティソリューションの提供を行っております。 |
| 遺伝子情報サービス事業    | 株式会社ジーンクエストでは、遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析等を行っております。                                                                                                       |
| 通信事業           | ソフィアデジタル株式会社では、MVNO、FVNOを中心とした情報通信サービス全般とISPの企画、開発、運営を行っております。                                                                                      |
| ECサイト関連事業      | 株式会社オルタエンターテイメントでは、WEBサイトの企画・運営及び管理等を行っております。                                                                                                       |
| 海外事業           | SOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITEDでは、東アジア圏におけるIT事業等、グループ会社に対して事業機会の提供、ビジネスの仲介業務等を行っております。                                                                 |

## (6) 主要な営業所及び工場（平成29年3月31日現在）

| 名称                           | 所在地 |                    |
|------------------------------|-----|--------------------|
| 株式会社ソフィアホールディングス             | 本社  | 東京都新宿区             |
| ソフィア総合研究所株式会社                | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社サイバービジョンホスティング           | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社アクア                      | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社ナノメディカル                  | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社メディカルコンピューターサービス         | 本社  | 東京都新宿区             |
| エリアビイジャパン株式会社                | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社ジーンクエスト                  | 本社  | 東京都品川区             |
| ソフィアデジタル株式会社                 | 本社  | 東京都新宿区             |
| 株式会社オルタエンターテイメント             | 本社  | 東京都新宿区             |
| SOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITED | 本社  | 中華人民共和国<br>香港特別行政区 |

(7) 使用人の状況（平成29年3月31日現在）

① 企業集団の使用人の状況

| 使用人数    | 前連結会計年度末比増減 |
|---------|-------------|
| 81（12）名 | 5名減（－）      |

（注） 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

| 使用人数   | 前事業年度末比増減 | 平均年齢   | 平均勤続年数 |
|--------|-----------|--------|--------|
| 13（－）名 | 3名増（1名減）  | 39歳0ヶ月 | 3年3ヶ月  |

（注） 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況（平成29年3月31日現在）

| 借入先        | 借入額    |
|------------|--------|
| 株式会社りそな銀行  | 656百万円 |
| 株式会社東京都民銀行 | 100百万円 |

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。



## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況（平成29年3月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 88,000,000株
- ② 発行済株式の総数 22,377,200株  
(自己株式486,130株を含む)
- ③ 株主数 1,278名
- ④ 大株主（上位10名）

| 株 主 名          | 持 株 数    | 持 株 比 率 |
|----------------|----------|---------|
| 先端技術研究投資事業組合   | 14,870千株 | 67.93%  |
| 伊藤 満           | 380千株    | 1.74%   |
| サンシャインE号投資事業組合 | 350千株    | 1.60%   |
| 古井 章公          | 328千株    | 1.50%   |
| 折橋 勝           | 310千株    | 1.42%   |
| 楽天証券株式会社       | 258千株    | 1.18%   |
| 豊田 雅司          | 174千株    | 0.79%   |
| 松浦 行子          | 152千株    | 0.69%   |
| 山本 直弘          | 122千株    | 0.56%   |
| 伊藤 好一          | 120千株    | 0.55%   |

(注) 1. 当社は、自己株式を486,130株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式（486,130株）を控除して計算しております。

### (2) 新株予約権等の状況（平成29年3月31日現在）

- ① 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況  
特に記載すべき事項はありません。
- ② 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況  
特に記載すべき事項はありません。

### (3) 会社役員 の 状 況

#### ① 取締役及び監査役の状況（平成29年3月31日現在）

| 地 位           | 氏 名       | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 状 況                                                                                |
|---------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 社 長 | 新 村 直 樹   | ソフィア総合研究所(株) 取締役<br>(株)アクア 取締役<br>(株)オルタエンターテイメント 代表取締役<br>(株)ナノメディカル 取締役<br>(株)メディカルコンピュータサービス 取締役  |
| 取 締 役         | 山 田 淳     | ソフィア総合研究所(株) 代表取締役<br>(株)ナノメディカル 代表取締役<br>(株)メディカルコンピュータサービス 代表取締役                                   |
| 取 締 役         | 高 橋 林 広   | ソフィア総合研究所(株) 取締役                                                                                     |
| 取 締 役         | 鈴 木 規 央   | シティユークワ法律事務所 アソシエイト<br>(株)うるる 社外監査役                                                                  |
| 常 勤 監 査 役     | 樋 笠 也 寸 志 | ソフィア総合研究所(株) 監査役<br>(株)アクア 監査役<br>(株)ナノメディカル 監査役<br>(株)メディカルコンピュータサービス 監査役<br>ソフィアデジタル(株) 監査役        |
| 監 査 役         | 伊 藤 雅 浩   | 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 パートナー<br>(株)w a j a 社外監査役<br>(株)チームスピリット 社外監査役<br>(株)ウェブレッジ 社外監査役<br>情報技術開発(株) 社外監査役 |
| 監 査 役         | 川 島 渉     | 川島公認会計士事務所 代表<br>スクエア・コンサルティング(株) 代表取締役                                                              |

- (注) 1. 取締役鈴木規央氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役伊藤雅浩氏及び監査役川島渉氏は、社外監査役であります。  
 3. 監査役川島渉氏は、以下のとおり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。  
 ・監査役川島渉氏は、公認会計士の資格を有しております。  
 4. 当社は監査役伊藤雅浩氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 5. 平成28年6月28日開催の第41期定時株主総会において、新たに高橋林広氏は取締役役に選任され就任いたしました。

## ② 取締役及び監査役報酬等の総額

| 区 分                | 支給人員      | 支給額          |
|--------------------|-----------|--------------|
| 取 締 役<br>(うち社外取締役) | 4名<br>(1) | 37百万円<br>(3) |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 3<br>(2)  | 9<br>(3)     |
| 合 計                | 7         | 46           |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、平成18年6月27日開催の第31期定時株主総会において年額100百万円以内（但し、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、昭和63年6月24日開催の第13期定時株主総会において年額15百万円以内と決議いただいております。

## ③ 社外役員に関する事項

### イ. 他の法人等との重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

取締役鈴木規央氏は、シティユーワ法律事務所のアソシエイト、(株)うるのの社外監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

監査役伊藤雅浩氏は、弁護士法人内田・鮫島法律事務所のパートナー、(株)waj aの社外監査役、(株)ウェブレッジの社外監査役及び情報技術開発(株)の社外監査役であり、当社とそれらの兼職先との間には特別の関係はありません。なお、監査役伊藤雅浩氏は、(株)チームスピリットの社外監査役であり、当社と兼職先との間には業務委託の取引関係があります。

監査役川島渉氏は、川島公認会計士事務所代表、スクエア・コンサルティング(株)の代表取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

|              | 出席状況及び発言状況                                                                                                         |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>鈴木 規央 | 当事業年度に開催された取締役会10回のうち10回に出席いたしました。主に弁護士としての見地から意見を述べるなど、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。                    |
| 監査役<br>伊藤 雅浩 | 当事業年度に開催された取締役会10回のうち10回、監査役会7回のうち7回に出席いたしました。弁護士としての専門的見地から、取締役会及び監査役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。   |
| 監査役<br>川島 渉  | 当事業年度に開催された取締役会10回のうち10回、監査役会7回のうち7回に出席いたしました。公認会計士としての専門的見地から、取締役会及び監査役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。 |

#### (4) 会計監査人の状況

① 名称 明治アーク監査法人

#### ② 報酬等の額

|                                 | 支 払 額 |
|---------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額             | 18百万円 |
| 当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 18百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

③ 非監査業務の内容  
該当事項はありません。

#### ④ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

(5) 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容及び整備・運用状況の概要は以下のとおりであります。

① 基本方針

当社は、企業理念において「内外の法及びその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、社会から信頼される企業市民をめざし、社会との調和ある成長を遂げる。」と定め、役職員が法令・定款及び社会規範を遵守した行動をとるための行動規範とすること、また、その精神を代表取締役が繰り返し役職員に伝えることによって、法令遵守があらゆる企業活動の前提となることを徹底することとしており、内部監査部門は、各部門の業務が法令及び定款並びに社内規程に適合して行われていることを監査において確認するものとしています。

当社の業務の適正を確保するための体制の整備及び運用に関する基本的な考え方は、上記企業理念の他、平成18年5月25日開催の取締役会において、「経営の透明性が求められるなかにあつて、経営環境の変化に迅速かつ適切に対応できる組織体制でありながら、同時にリスク管理及び牽制の働く組織体制を構築し、維持することを目指す」としております。

② 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況等

イ 会社の機関の基本説明

取締役会は4名の取締役（事業年度末日現在）によって構成され、うち1名を社外取締役とし、取締役会規則で定められた事項の審議と決議及び報告を行っております。月1回の経営会議を開催し、取締役会決議事項の審議、経営会議規程に定められた事項の審議を行い、その他経営課題への取り組みに際しては、日々変化する環境に迅速に対処するため緊密な連絡・会議を持ち、機動的な経営を行う体制を整えております。

また、当社は監査役会制度を採用しております。監査役会は3名の監査役によって構成され、うち2名を社外監査役とし、会社の経営について公正な監査を行う体制にあります。

ロ 内部牽制組織、組織上の業務部門及び管理部門の配置状況、社内規程の整備状況

当社及び子会社の管理・統括業務を行う対価として、当社は経営指導料を営業収入としております。当社は、人事総務、経理、財務の各セクションを統合した管理部門及び法務部、経営企画部門で構成されており、子会社の管理を一元的に統括しております。また、兼職ではありますが、社長直轄の内部監査室が当社及び子会社の内部統制を管理している部門となります。各部はそれぞれの業務分掌範囲に応じて当社及び子会社の管理を行い、当社及び子会社への内部牽制が働くよう努めております。

社内規程の整備につきましては、規程管理規程に従い必要に応じて制定または改廃を行っております。

ハ 内部監査及び監査役監査の状況

内部監査については、社長直轄の組織として内部監査室（1名）を設置しております。主に内部監査規程に基づいた業務監査を行い、社長への報告を行うほか、社内外に設置された内部通報受付窓口と連携する体制を整えております。

監査役は、取締役会その他重要な会議に出席するほか、取締役等からの聴取、重要な決裁書類等の閲覧を行うなどの方法により監査を行っております。また、監査役は、会計監査人から監査状況について監査結果の報告会で説明を受けるほか、必要に応じて会計監査人と情報の交換をしております。

ニ 会計監査の状況

当社の会計監査業務を執行した公認会計士は、米倉礼二氏、森岡宏之氏の2名であり、明治アーク監査法人に所属しております。

ホ 社外監査役との関係

当社の社外監査役は2名です。

社外監査役の伊藤雅浩氏は、当社グループ会社の出身ではなく、当社と人的関係、資金的関係はありませんが、当社と兼職先である㈱チームスピリットとの間には業務委託の取引関係があります。

社外監査役の川島渉氏は、当社グループ会社の出身ではなく、当社と人的関係、資金的関係または取引関係その他の利害関係はありません。

社外監査役は、当社の業務執行者から独立した立場で、適法性の観点から監査を行っております。また、監査役会に出席することにより、監査役間の情報交換を行い、必要に応じて内部監査室その他各部門からの報告を受けることで、会計監査に関する情報及び内部統制システム等の状況に関する情報を把握しております。

コーポレート・ガバナンスにおいて、外部からの客観的、中立の経営監視の機能が重要と考えており、社外監査役2名による監査が実施されることにより、外部からの経営監視機能が十分に機能する体制が整っているため、現状の体制としております。

#### へ 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

文書管理規程に従い、取締役の職務執行に係る情報を文書または電磁的媒体(以下、文書等という)に記録し、保存するものとしております。取締役及び監査役は、文書管理規程により、常時、これらの文書等を閲覧できるものとしております。

これらの情報については、セキュリティが確保された場所で適切に保存されており、その管理状況については監査役が定期的に確認しております。

#### ト 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会は取締役、社員が共有する全社的な目標を定め、業務担当取締役はその目標達成のために各部門の具体的な目標及び会社の権限分配・意思決定ルールに基づく権限分配を含めた効率的な達成の方法を定めるものとしております。取締役会は定期的に進捗状況をレビューして改善を促し、必要に応じて目標修正を行います。これらの体制により全社的な業務の効率性を確保するものとしております。

取締役会によるレビュー結果等については、毎月開催されるグループ役員会において各担当役員に報告されております。

#### チ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

経営上の意思決定は、取締役会で決議することとしております。法令遵守、環境、災害、品質、情報セキュリティ及び輸出管理等に係るリスクについては、それぞれの担当部署にて、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成・配布等を行うものとし、組織横断的リスク状況の監視及び全社的対応は管理部が行うものとしております。新たに生じたリスクについては取締役会においてすみやかに対応責任者となる取締役を定めるものとしております。

当社は、ISMSに準拠した情報セキュリティ体制を確立しており、企業経営に重大な影響を与える様々なリスクの識別・分類・評価・分析・評価に関する定期的な見直しを行い、対応後の実施状況の検証を行っております。



- リ 当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

グループ各社の事業に関して責任を負う取締役を任命し、法令遵守体制、リスク管理体制を構築する権限と責任を与えております。本社管理部はこれらを横断的に推進し、管理するものとしております。なお、係る基本方針を更に推し進めた結果、社内外に当社及びグループ各社からの内部通報受付部門を設け、法令または行動規範に違反する行為に対し、従業員が直接通報、相談できるようにするとともに、違反行為の是正を行う体制を構築しております。また、子会社に対しては重要な案件に関する事前協議を行うことによって当社の関与を義務付けるほか、定期及び随時に当社に報告する体制を整えております。

各グループ会社の担当取締役からの業務報告については、毎月開催されるグループ役員会において実施されております。

- ヌ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項並びにその使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役職務を補助する組織を管理部より適宜選任するものとしております。当該使用人は、監査役職務補助業務を遂行するにあたり取締役の指揮命令を受けないものとし、その任免、専任・兼任の別、異動、人事考課、懲戒に関しては、事前に監査役会の同意を要することとし、当該使用人に対する監査役の指示の実効性を確保しております。ただし、監査役より与えられた命令を実行するにあたり、職員の本来業務に支障が生じると判断される場合は、取締役と監査役の協議により解決するものとしております。

本件に関する運用については、今年度は該当する事項がございませんでした。

- ル 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役または使用人は、監査役に対して、法定の事項に加え、当社及び当社グループに重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況をすみやかに報告する体制を整備するものとしております。報告の方法(報告書、報告受領者、報告時期等)については、取締役と監査役との協議により決定する方法によっております。

今年度に開催された全ての取締役会、グループ役員会に監査役が出席し、職務の遂行状況を確認いたしました。

ヲ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、代表取締役、会計監査人とそれぞれ定期的に意見交換会を開催するものとしております。監査役がその職務の執行につき、費用の前払い等を請求したときは、請求に係る費用又は債務が当該監査役の職務の執行に必要なでないことを証明した場合を除き、当社はこれを拒むことはできないものとしております。

監査役は監査計画を策定し、当該監査計画に基づき、代表取締役及び各担当役員に対して、担当業務におけるリスク・課題についてのヒアリングを実施しております。

ワ 反社会的勢力排除に向けた体制

当社は、社会的秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的勢力とは一切関わりを持たず、また、不当な要求に対しては、組織全体として毅然とした姿勢で対応することとしております。なお、この点に関しては、平成23年3月18日条例第54号東京都暴力団排除条例の公布及び同年10月1日の同条例の施行を受け、一層の強化、実質化を図っております。

当社は、反社会的勢力の排除に関し、お取引先様との間の契約内容に反社会的勢力の排除に関する条項を盛り込むとともに、反社会的勢力の情報を収集する取組みを継続的に実施しております。

#### (6) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置付けており、会社の収益状況に対応した配当を行うことを基本としながら、財務体質の強化や将来の事業展開に役立てるための内部留保などにも留意して、総合的に勘案し決定する方針を採っております。

しかしながら、当事業年度の配当金につきましては財務体質の強化を理由とし、誠に遺憾ではありますが無配とさせていただきます。

なお内部留保金におきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、有効投資を行ってまいりたいと考えております。

また次期以降につきましては、安定的に利益が確保できる体制を確実なものとし、早期の復配を目指す所存であります。

# 連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部   |           | 負 債 の 部       |            |
|-----------|-----------|---------------|------------|
| 科 目       | 金 額       | 科 目           | 金 額        |
| 流動資産      | 2,078,879 | 流動負債          | 1,947,536  |
| 現金及び預金    | 1,440,471 | 支払手形及び買掛金     | 452,432    |
| 受取手形及び売掛金 | 540,620   | 短期借入金         | 570,000    |
| 商品及び製品    | 7,767     | 1年以内返済予定長期借入金 | 112,014    |
| その他       | 95,780    | リース債務         | 11,293     |
| 貸倒引当金     | △5,759    | 未払金           | 85,807     |
| 固定資産      | 331,778   | 未払法人税等        | 52,898     |
| 有形固定資産    | 93,209    | 預り金           | 517,794    |
| 建物及び構築物   | 8,419     | その他           | 145,294    |
| リース資産     | 19,077    | 固定負債          | 420,102    |
| その他       | 65,712    | 長期借入金         | 401,393    |
| 無形固定資産    | 200,687   | リース債務         | 10,351     |
| のれん       | 175,707   | その他           | 8,357      |
| ソフトウェア    | 24,979    | 負債合計          | 2,367,638  |
| 投資その他の資産  | 37,881    | 純 資 産 の 部     |            |
| 長期貸付金     | 49,942    | 株主資本          | 49,769     |
| 敷金及び保証金   | 32,983    | 資本金           | 2,108,000  |
| その他       | 13,557    | 資本剰余金         | 402,886    |
| 貸倒引当金     | △58,601   | 利益剰余金         | △2,399,412 |
| 資産合計      | 2,410,658 | 自己株式          | △61,704    |
|           |           | その他の包括利益累計額   | △6,750     |
|           |           | 為替換算調整勘定      | △6,750     |
|           |           | 純資産合計         | 43,019     |
|           |           | 負債・純資産合計      | 2,410,658  |

# 連結損益計算書

(平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                           | 金      | 額         |
|-------------------------------|--------|-----------|
| 売 上 高                         |        | 3,990,600 |
| 売 上 原 価                       |        | 2,911,581 |
| 売 上 総 利 益                     |        | 1,079,018 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |        | 909,603   |
| 営 業 利 益                       |        | 169,415   |
| 営 業 外 収 益                     |        |           |
| 受 取 利 息                       | 295    |           |
| 受 取 配 当 金                     | 144    |           |
| 貸 倒 引 当 金 戻 入 益               | 3,161  |           |
| そ の 他                         | 571    | 4,173     |
| 営 業 外 費 用                     |        |           |
| 支 払 利 息                       | 21,979 |           |
| そ の 他                         | 319    | 22,299    |
| 経 常 利 益                       |        | 151,289   |
| 特 別 利 益                       |        |           |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益             | 402    |           |
| 新 株 予 約 権 戻 入 益               | 19,292 |           |
| 違 約 金 収 入                     | 7,020  | 26,714    |
| 特 別 損 失                       |        |           |
| 固 定 資 産 除 却 損                 | 18,125 |           |
| 和 解 金                         | 34,466 |           |
| 減 損 損 失                       | 48,478 | 101,070   |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |        | 76,932    |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税       | 57,432 |           |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △3,637 | 53,794    |
| 当 期 純 利 益                     |        | 23,138    |
| 非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |        | -         |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |        | 23,138    |

## 連結株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

|                               | 株 主 資 本   |         |            |         |        |
|-------------------------------|-----------|---------|------------|---------|--------|
|                               | 資 本 金     | 資本剰余金   | 利益剰余金      | 自己株式    | 株主資本合計 |
| 平成28年4月1日<br>期首残高             | 2,108,000 | 402,886 | △2,422,550 | △61,392 | 26,944 |
| 連結会計年度中の<br>変動額               |           |         |            |         |        |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益           |           |         | 23,138     |         | 23,138 |
| 自己株式の取得                       |           |         |            | △312    | △312   |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) |           |         |            |         |        |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計             | -         | -       | 23,138     | △312    | 22,825 |
| 平成29年3月31日<br>期末残高            | 2,108,000 | 402,886 | △2,399,412 | △61,704 | 49,769 |

|                               | その他の包括利益累計額      |            |                 | 新株予約権   | 純資産合計   |
|-------------------------------|------------------|------------|-----------------|---------|---------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替調整勘<br>定 | その他の利益<br>包括額合計 |         |         |
| 平成28年4月1日<br>期首残高             | 307              | △6,888     | △6,581          | 19,292  | 39,654  |
| 連結会計年度中の<br>変動額               |                  |            |                 |         |         |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益           |                  |            |                 |         | 23,138  |
| 自己株式の取得                       |                  |            |                 |         | △312    |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) | △307             | 138        | △168            | △19,292 | △19,460 |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計             | △307             | 138        | △168            | △19,292 | 3,365   |
| 平成29年3月31日<br>期末残高            | -                | △6,750     | △6,750          | -       | 43,019  |

## 連結注記表

### 1. 連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数及び連結子会社の名称

- ・ 連結子会社の数 10社
- ・ 連結子会社の名称 ソフィア総合研究所株式会社  
ソフィアデジタル株式会社  
SOPHIA ASIA-PACIFIC,LIMITED  
株式会社オルタエンターテイメント  
株式会社アクア  
株式会社ジーンクエスト  
株式会社ナノメディカル  
株式会社メディカルコンピューターサービス  
エリアビイジャパン株式会社  
株式会社サイバービジョンホスティング

#### (2) 会計方針に関する事項

##### ① 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ. その他有価証券

- ・ 時価のあるもの 連結決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
- ・ 時価のないもの 移動平均法による原価法

ロ. たな卸資産

- ・ 商品及び製品 移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）
- ・ 原材料及び貯蔵品 移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

- ② 固定資産の減価償却の方法
- イ. 有形固定資産  
 (リース資産を除く) 定率法によっております。  
 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。  
 建物及び構築物 8～15年  
 その他 4～10年
- ロ. 無形固定資産  
 (リース資産を除く)
- ・ 自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
  - ・ 販売用のソフトウェア 見込販売収益に基づく償却額と見込販売期間(2年以内)に基づく均等分配額とのいずれか大きい額によっております。
- ハ. リース資産 所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産  
 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- ③ 引当金の計上基準
- 貸倒引当金 売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ④ 収益及び費用の計上基準
- 完成工事高及び完成工事原価の計上基準 当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。
- ⑤ のれんの償却方法及び償却期間  
 のれんの償却については、5～10年間の定額法により償却を行っております。
- ⑥ その他連結計算書類作成のための重要な事項
- イ. 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。
  - ロ. 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる連結計算書類に与える影響はありません。

## 3. 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

## 4. 連結貸借対照表に関する注記

### (1) 担保に供している資産及び担保付債務

(担保に供している資産)

現金及び預金 170,000千円

(担保付債務)

短期借入金 170,000千円

(注) 上記のほか、連結上相殺消去されている連結子会社株式(連結相殺消去前帳簿価額200,000千円)を、1年内返済予定の長期借入金43,999千円及び長期借入金106,333千円の担保に供しております。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 155,944千円  
(減損損失累計額を含む)



## 5. 連結損益計算書に関する注記

### 減損損失

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| セグメント及び場所                  | 用途              | 種類        | 減損損失<br>(千円) |
|----------------------------|-----------------|-----------|--------------|
| 健康医療介護情報サービス事業<br>(東京都新宿区) | 事業用資産           | 有形固定資産その他 | 66           |
|                            |                 | ソフトウェア    | 17,002       |
|                            |                 | 無形固定資産その他 | 144          |
| 遺伝子情報サービス事業<br>(東京都品川区)    | 事業用資産           | ソフトウェア    | 1,706        |
| 健康医療介護情報サービス事業<br>(東京都新宿区) | 株式の取得に伴い発生したのれん | のれん       | 29,559       |

当社グループは、原則として、事業用資産については事業の種類別セグメントを基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

事業用資産については、収益性の低下等により事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当連結会計年度において減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額は、いずれの事業用資産も使用価値に基づき将来キャッシュ・フローの見積りによって算定しており、回収可能価額を零として評価しております。

株式取得に伴い発生したのれんについては、株式の取得時に想定していた超過収益力が見込めなくなったことから、当連結会計年度において減損損失として特別損失に計上しております。なお、回収可能価額は、使用価値に基づき、将来キャッシュ・フローの見積りによって算定しており、回収可能価額を零として評価しております。

## 6. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

### 発行済株式の総数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度増加株式数 | 当連結会計年度減少株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|-------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 普通株式  | 22,377,200株   | 一株           | 一株           | 22,377,200株  |

## 7. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

当社グループでは、資金計画等に基づき必要に応じて短期の運転資金等を銀行借入にて調達しております。一時的な余資については主に銀行預金で運用しております。

#### ② 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客及び取引先の信用リスクに晒されております。

長期貸付金は、主に取引先に対する貸付であり、取引先の信用リスクに晒されております。

営業債務である支払手形及び買掛金、未払金、預り金は、そのほとんどが2ヶ月以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。

借入金は、主に運転資金に係る資金調達を目的としたものであり、最終返済期日又は償還日は最長で決算日後6年であります。

#### ③ 金融商品に係るリスク管理体制

##### イ. 信用リスク（契約先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社グループは、営業債権については、販売管理規程に従い、主要な取引先毎に取引開始時における信用調査、期日管理及び残高管理を行い、また貸付金については、当社管理部が貸付先の状況を定期的にモニタリングし、相手先ごとに期日及び残高の管理を行い、財務状況等の悪化による回収懸念等の早期把握により貸倒リスクの軽減を図っております。

##### ロ. 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払を実行できなくなるリスク）の管理

当社グループは、各部署からの報告に基づき経理財務部門が適時に資金計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

#### ④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

|                 | 連結貸借対照表計上額 | 時 価       | 差 額 |
|-----------------|------------|-----------|-----|
| (1)現金及び預金       | 1,440,471  | 1,440,471 | —   |
| (2)受取手形及び売掛金    | 540,620    | 540,620   | —   |
| (3)長期貸付金（1年内含む） | 52,992     |           |     |
| 貸倒引当金(*)        | △48,617    |           |     |
|                 | 4,375      | 4,503     | 128 |
| 資産計             | 1,985,466  | 1,985,595 | 128 |
| (4)支払手形及び買掛金    | 452,432    | 452,432   | —   |
| (5)短期借入金        | 570,000    | 570,000   | —   |
| (6)未払金          | 85,807     | 85,807    | —   |
| (7)長期借入金（1年内含む） | 513,408    | 514,260   | 851 |
| (8)預り金          | 517,794    | 517,794   | —   |
| 負債計             | 2,139,442  | 2,140,294 | 851 |

(\*)長期貸付金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3)長期貸付金

一定の期間ごとに分類し、与信管理上の信用リスク区分ごとに、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に信用スプレッドを上乗せした利率で割り引いた現在価値により算定しております。

負債

(4)支払手形及び買掛金、(5)短期借入金、(6)未払金、(8)預り金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(7)長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

## (注2) 金銭債権の連結決算日後の償還予定額 (単位：千円)

|           | 1年以内      | 1年超<br>5年以内 | 5年超<br>10年以内 | 10年超 |
|-----------|-----------|-------------|--------------|------|
| 現金及び預金    | 1,440,471 | —           | —            | —    |
| 受取手形及び売掛金 | 540,620   | —           | —            | —    |
| 長期貸付金(*)  | 1,250     | 3,125       | —            | —    |
| 合計        | 1,982,341 | 3,125       | —            | —    |

(\*)長期貸付金のうち、償還予定額が見込めない48,617千円は含めておりません。

## (注3) 長期借入金の連結決算日後の返済予定額 (単位：千円)

|       | 1年以内    | 1年超<br>5年以内 | 5年超<br>10年以内 | 10年超 |
|-------|---------|-------------|--------------|------|
| 長期借入金 | 112,014 | 399,675     | 1,718        | —    |
| 合計    | 112,014 | 399,675     | 1,718        | —    |

## 8. 1株当たり情報に関する注記

- |                |       |
|----------------|-------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 1円97銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 1円06銭 |

## 9. 重要な後発事象に関する注記

当社は、平成29年4月26日開催の取締役会において、平成29年6月27日開催予定の第42期定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）に、株式併合、単元株式数の変更および定款の一部変更について付議することを決議いたしました。

## (1) 株式併合の目的

全国証券取引所は「売買単位の集約に向けた行動計画」を発表し、平成30年10月1日までに、すべての国内上場会社の普通株式の売買単位を100株に統一することを目指しております。

当社も、東京証券取引所に上場する会社としてこの趣旨を尊重し、当社株式の売買単位（単元株式数）を現在の1,000株から100株に変更することとし、あわせて当社株式について、中長期的な株価変動を勘案しつつ、投資単位を適切な水準に調整することを目的として、株式併合（10株を1株に併合）を実施するものであります。

## (2) 株式併合の内容

## ① 併合する株式の種類

普通株式

## ② 併合の方法・割合

平成29年10月1日をもって、平成29年9月30日（実質上9月29日）の最終の株主名簿に記録された株主様の所有株式数10株につき1株の割合で併合致します。

③ 併合により減少する株式数

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 株式併合前の発行済み株式総数(平成29年3月31日現在) | 22,377,200株 |
| 株式併合により減少する株式数               | 20,139,480株 |
| 株式併合後の発行済み株式総数               | 2,237,720株  |

(注) 「株式併合により減少する株式数」および「株式併合後の発行済み株式総数」は、株式併合前の発行済株式総数および併合割合に基づき算出した理論値でありません。

④ 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第235条に基づき一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して端数の割合に応じて分配いたします。

(3) 単元株式数の変更の内容

株式併合の効力発生と同時に、普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

(4) 株式併合及び単元株式数の変更の日程

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 取締役会決議日            | 平成29年4月26日 |
| 株主総会決議日(予定)        | 平成29年6月27日 |
| 株式併合及び単元株式数の変更(予定) | 平成29年10月1日 |

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が当連結会計年度の期首に実施されたと仮定した場合の、当連結会計年度における1株当たり情報は以下の通りです。

|            |        |
|------------|--------|
| 1株当たり純資産額  | 19円65銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 10円57銭 |

# 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部   |          | 負 債 の 部       |            |
|-----------|----------|---------------|------------|
| 科 目       | 金 額      | 科 目           | 金 額        |
| 流動資産      | 253,485  | 流動負債          | 609,640    |
| 現金及び預金    | 138,703  | 短期借入金         | 500,000    |
| 前払費用      | 8,768    | 1年以内返済予定長期借入金 | 40,008     |
| 関係会社短期貸付金 | 16,000   | 未払金           | 44,426     |
| 未収入金      | 89,513   | 未払法人税等        | 14,995     |
| その他       | 499      | その他           | 10,209     |
| 固定資産      | 606,242  | 固定負債          | 225,430    |
| 有形固定資産    | 8,757    | 長期借入金         | 146,656    |
| 建物        | 8,419    | 債務保証損失引当金     | 78,774     |
| その他       | 338      | 負債合計          | 835,070    |
| 無形固定資産    | 4,014    | 純資産の部         |            |
| ソフトウェア    | 4,014    | 株主資本          | 24,658     |
| 投資その他の資産  | 593,470  | 資本金           | 2,108,000  |
| 関係会社株式    | 528,494  | 資本剰余金         | 402,986    |
| 関係会社長期貸付金 | 426,000  | 資本準備金         | 402,986    |
| 敷金及び保証金   | 28,752   | 利益剰余金         | △2,424,624 |
| 貸倒引当金     | △389,775 | 利益準備金         | 10,303     |
| 資産合計      | 859,728  | その他利益剰余金      | △2,434,927 |
|           |          | 繰越利益剰余金       | △2,434,927 |
|           |          | 自己株式          | △61,704    |
|           |          | 純資産合計         | 24,658     |
|           |          | 負債・純資産合計      | 859,728    |

# 損 益 計 算 書

(平成28年 4月1日から  
平成29年 3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                     | 金       | 額       |
|-------------------------|---------|---------|
| 営 業 収 益                 |         | 437,800 |
| 営 業 費 用                 |         | 198,766 |
| 営 業 利 益                 |         | 239,033 |
| 営 業 外 収 益               |         |         |
| 受 取 利 息                 | 10,412  |         |
| 受 取 配 当 金               | 144     |         |
| そ の 他                   | 22      | 10,580  |
| 営 業 外 費 用               |         |         |
| 支 払 利 息                 | 18,606  |         |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入 額         | 134,041 |         |
| 債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額 | 73,656  | 226,305 |
| 経 常 利 益                 |         | 23,308  |
| 特 別 利 益                 |         |         |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益       | 402     |         |
| 新 株 予 約 権 戻 入 益         | 19,292  | 19,694  |
| 特 別 損 失                 |         |         |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 9,241   | 9,241   |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |         | 33,760  |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 |         | △46,091 |
| 当 期 純 利 益               |         | 79,852  |

# 株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

|                                 | 株 主 資 本   |           |              |           |                                 |              |         |             |
|---------------------------------|-----------|-----------|--------------|-----------|---------------------------------|--------------|---------|-------------|
|                                 | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 |              | 利 益 剰 余 金 |                                 |              | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
|                                 |           | 資本準備金     | 資本剰余金<br>合 計 | 利益準備金     | そ の 他<br>利益剰余金<br>繰越利益<br>剰 余 金 | 利益剰余金<br>合 計 |         |             |
| 平成28年4月1日<br>期 首 残 高            | 2,108,000 | 402,986   | 402,986      | 10,303    | △2,514,779                      | △2,504,476   | △61,392 | △54,881     |
| 事業年度中の<br>変 動 額                 |           |           |              |           |                                 |              |         |             |
| 当期純利益                           |           |           |              |           | 79,852                          | 79,852       |         | 79,852      |
| 自己株式の取得                         |           |           |              |           |                                 |              | △312    | △312        |
| 株主資本以外の<br>項目の事業年度中<br>の変動額(純額) |           |           |              |           |                                 |              |         |             |
| 事業年度中の<br>変 動 額 合 計             | -         | -         | -            | -         | 79,852                          | 79,852       | △312    | 79,539      |
| 平成29年3月31日<br>期 末 残 高           | 2,108,000 | 402,986   | 402,986      | 10,303    | △2,434,927                      | △2,424,624   | △61,704 | 24,658      |

|                                 | 評価・換算差額等                  |                | 新株予約権   | 純 資 産 計 |
|---------------------------------|---------------------------|----------------|---------|---------|
|                                 | そ の 他<br>有 価 証 券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |         |         |
| 平成28年4月1日<br>期 首 残 高            | 307                       | 307            | 19,292  | △35,281 |
| 事業年度中の<br>変 動 額                 |                           |                |         |         |
| 当期純利益                           |                           |                |         | 79,852  |
| 自己株式の取得                         |                           |                |         | △312    |
| 株主資本以外の<br>項目の事業年度中<br>の変動額(純額) | △307                      | △307           | △19,292 | △19,599 |
| 事業年度中の<br>変 動 額 合 計             | △307                      | △307           | △19,292 | 59,940  |
| 平成29年3月31日<br>期 末 残 高           | -                         | -              | -       | 24,658  |



## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

① 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

② その他有価証券

・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・時価のないもの

移動平均法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法によっております。

（リース資産を除く）

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建 物 8～15年

無形固定資産

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

（リース資産を除く）

自社利用のソフトウェア

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

債務保証損失引当金

関係会社への債務保証等に係る損失に備えるため、被保証会社の財政状態等を勘案し、損失負担見込額を計上しております。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

② 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる計算書類に与える影響はありません。

## 3. 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当事業年度から適用しております。

## 4. 貸借対照表に関する注記

- |                                                                           |           |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額                                                        | 3,279千円   |
| (減損損失累計額を含む)                                                              |           |
| (2) 担保に供している資産及び担保付債務                                                     |           |
| 下記の資産は、子会社ソフィア総合研究所株式会社の1年内返済予定の長期借入金43,999千円及び長期借入金106,333千円の担保に供しております。 |           |
| 関係会社株式                                                                    | 200,000千円 |
| (3) 偶発債務                                                                  |           |
| 子会社ソフィア総合研究所株式会社について下記の債務保証を行っております。                                      |           |
| リース契約に対する連帯保証                                                             | 1,355千円   |
| 割賦購入契約に対する連帯保証                                                            | 10,459千円  |
| 買掛金に対する連帯保証                                                               | 621千円     |
| 子会社ソフィアデジタル株式会社について下記の債務保証を行っております。                                       |           |
| 買掛金に対する連帯保証                                                               | 1,243千円   |
| 子会社株式会社ナノメディカルについて下記の債務保証を行っております。                                        |           |
| 借入金に対する連帯保証                                                               | 3,213千円   |
| (4) 関係会社に対する金銭債権債務 (区分表示したものを除く)                                          |           |
| ① 短期金銭債権                                                                  | 91,272千円  |
| ② 短期金銭債務                                                                  | 232,856千円 |

## 5. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

(1) 営業取引による取引高

営業収益

437,800千円

(2) 営業取引以外の取引高

20,751千円

## 6. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の数に関する事項

| 株 式 の 種 類 | 当事業年度期首の株式数 | 当事業年度増加株式数 | 当事業年度減少株式数 | 当事業年度末の株式数 |
|-----------|-------------|------------|------------|------------|
| 普 通 株 式   | 484,412株    | 1,718株     | －株         | 486,130株   |

(注) 自己株式の数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加分であります。

## 7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な内訳

|            |          |
|------------|----------|
| 繰延税金資産     | (単位：千円)  |
| 貸倒引当金繰入超過額 | 119,349  |
| 関係会社株式     | 48,498   |
| 債務保証損失引当金  | 24,120   |
| 繰越欠損金      | 530,415  |
| その他        | 110      |
| 繰延税金資産小計   | 722,494  |
| 評価性引当額     | △722,494 |
| 繰延税金資産合計   | －        |

8. 関連当事者との取引に関する注記

子会社等

| 種類            | 会社等の名称                | 資本金<br>又は出資<br>(千円) | 事業の<br>内容<br>又は職業          | 議決権等<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係<br>役員の兼<br>任等 | 事業上の<br>関係 | 取引の<br>内容          | 取引金額<br>(千円)<br>(注6) | 科目            | 期末残高<br>(千円)<br>(注6) |
|---------------|-----------------------|---------------------|----------------------------|------------------------|-------------------------|------------|--------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 子会社           | ソフィア総合研究所(株)          | 49,900              | インターネット<br>関連事業            | 100.0                  | 兼任<br>3名                | 経指<br>営導   | 経営指導料<br>(注1)      | 25,200               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 受取配当金              | 200,000              | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 債務保証<br>(注2)       | 12,436               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 借入金の<br>返済<br>(注3) | 200,000              | 短期借入金         | 200,000              |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 利息の支払<br>(注3)      | 9,835                | 流動資産<br>その他   | 3,000                |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 連結税額の<br>個別負担      | 5,047                | 未払金           | 5,047                |
| 子会社           | (株)アクア                | 10,000              | インター<br>ネット<br>関連事業        | 100.0                  | 兼任<br>1名                | 経指<br>営導   | 経営指導料<br>(注1)      | 14,400               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 連結税額の<br>個別負担      | 8,816                | 未収入金          | 8,816                |
| 子会社           | (株)サイバー<br>ビジョニン<br>グ | 21,000              | インター<br>ネット<br>関連事業        | 100.0                  | -                       | 経指<br>営導   | 経営指導料<br>(注1)      | 6,000                | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 受取配当金              | 50,000               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 資金の借入<br>(注4)      | 50,000               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 借入金の<br>返済<br>(注4) | 50,000               | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 利息の支払<br>(注4)      | 167                  | -             | -                    |
| 連結税額の<br>個別負担 | 12,265                | 未収入金                | 12,265                     |                        |                         |            |                    |                      |               |                      |
| 子会社           | (株)ナノメ<br>ディカ         | 99,000              | 健康医療介<br>護情報サ<br>ービス事<br>業 | 100.0                  | 兼任<br>2名                | 経指<br>営導   | 経営指導料<br>(注1)      | 1,200                | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 債務保証<br>(注5)       | 3,213                | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 資金の貸付<br>(注6)      | 37,000               | 関係会社<br>長期貸付金 | 426,000              |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 利息の受取<br>(注6)      | 10,269               | 流動負債<br>その他   | 6,390                |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 株式の取得<br>(注7)      | 27,094               | 関係会社<br>株     | 27,094               |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 連結税額の<br>個別負担      | 19,235               | 未払金           | 19,235               |
| 子会社           | (株)メディ<br>コーピ<br>ー    | 10,000              | 健康医療介<br>護情報サ<br>ービス事<br>業 | 100.0                  | 兼任<br>2名                | 経指<br>営導   | 経営指導料<br>(注1)      | 6,000                | -             | -                    |
|               |                       |                     |                            |                        |                         |            | 連結税額の<br>個別負担      | 1,854                | 未払金           | 1,854                |

| 種類            | 会社等の名称                                          | 資本は<br>又又は<br>出資<br>(千円) | 業<br>内<br>又<br>は<br>職<br>業<br>の<br>容<br>業<br>の<br>容<br>業 | 議決権等<br>(被所有)<br>割合(%) | 関連当事者との関係     |                   | 取引<br>内<br>容            | 取引金額<br>(千円)<br>(注6) | 科目            | 期末残高<br>(千円)<br>(注6) |
|---------------|-------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------|---------------|-------------------|-------------------------|----------------------|---------------|----------------------|
|               |                                                 |                          |                                                          |                        | 役員<br>兼任<br>等 | 事業<br>上<br>係<br>関 |                         |                      |               |                      |
| 子会社           | エリアビ<br>ジャパン(株)                                 | 41,491                   | 健康医療介<br>護情報サ<br>ビス事業                                    | 100.0                  | -             | 経指<br>管<br>導      | 経営指導料<br>(注1)           | 600                  | -             | -                    |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 資金の貸付<br>(注8)           | 16,000               | 関係会社<br>短期貸付金 | 16,000               |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 利息の受取<br>(注8)           | 142                  | 流動負債<br>その他   | 240                  |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 連結税額の<br>個別負担           | 89                   | 未払金           | 89                   |
| 子会社           | (株)ジーン<br>エースト                                  | 55,000                   | 遺伝子情<br>報サー<br>ビス事業                                      | 90.9                   | -             | 経指<br>管<br>導      | 経営指導料<br>(注1)           | 6,800                | -             | -                    |
| 子会社           | ソフィアデ<br>ジタル(株)                                 | 10,000                   | 通信事業                                                     | 100.0                  | -             | 経指<br>管<br>導      | 経営指導料<br>(注1)           | 24,000               | -             | -                    |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 受取配当金                   | 100,000              | -             | -                    |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 債務保証<br>(注9)            | 1,243                | -             | -                    |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 資金の借入<br>(注10)          | 100,000              | -             | -                    |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 借入金<br>の返<br>済<br>(注10) | 100,000              |               |                      |
|               |                                                 |                          |                                                          |                        |               |                   | 利息の支払<br>(注10)          | 335                  | -             | -                    |
| 連結税額の<br>個別負担 | 66,690                                          | 未収入金                     | 66,690                                                   |                        |               |                   |                         |                      |               |                      |
| 子会社           | (株)オルタ<br>エ<br>ン<br>ター<br>テ<br>イ<br>メ<br>ン<br>ト | 1,000                    | ECサイト<br>関連<br>事業                                        | 100.0                  | 兼任<br>1名      | 経指<br>管<br>導      | 経営指導料<br>(注1)           | 3,600                | -             | -                    |

(注1) 経営指導料については、業務内容を勘案し決定しております。

(注2) ソフィア総合研究所株式会社のリース契約、固定資産の割賦購入契約及び商品の仕入取引等について、当社が債務保証を行っているものであります。なお、保証料の受領はありません。

(注3) ソフィア総合研究所株式会社からの資金の借入については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間1年の一括返済となっております。

(注4) 株式会社サイバービジョンホスティングからの資金の借入については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間1年の一括返済となっております。

(注5) 株式会社ナノメディカルの借入金について、当社が債務保証を行っているものであります。なお、保証料の受領はありません。

(注6) 株式会社ナノメディカルに対する資金の貸付については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間1年の一括返済となっております。

同貸付金に対しては、当事業年度に追加で貸倒引当金繰入額134,041千円を営業外費用に計上し、389,775千円の貸倒引当金を計上しております。

(注7) 取引価格につきましては、過去に株式会社ナノメディカルが同株式を取得した際の根拠となった第三者算定機関により算定した価格を参考にして決定したものであります。

- (注8) エリアビイジャパン株式会社に対する資金の貸付については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間1年の一括返済となっております。
- (注9) ソフィアデジタル株式会社の商品の仕入取引等について、当社が債務保証を行っているものであります。なお、保証料の受領はありません。
- (注10) ソフィアデジタル株式会社からの資金の借入については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は期間1年の一括返済となっております。
- (注11) 取引額及び期末残高には消費税は含まれておりません。
- (注12) 株式会社ジーンクエストへの債務保証等による損失に備えるため、同社の財政状態等を勘案し、当事業年度に追加で債務保証損失引当金繰入額73,656千円を営業外費用に計上し、損失負担見込額78,774千円を債務保証損失引当金として計上しております。

## 9. 1株当たり情報に関する注記

- |                |       |
|----------------|-------|
| (1) 1株当たり純資産額  | 1円13銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 3円65銭 |

## 10. 重要な後発事象に関する注記

当社は、平成29年4月26日開催の取締役会において、平成29年6月27日開催予定の第42期定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）に、株式併合、単元株式数の変更および定款の一部変更について付議することを決議いたしました。

### (1) 株式併合の目的

全国証券取引所は「売買単位の集約に向けた行動計画」を発表し、平成30年10月1日までに、すべての国内上場会社の普通株式の売買単위를100株に統一することを目指しております。

当社も、東京証券取引所に上場する会社としてこの趣旨を尊重し、当社株式の売買単元（単元株式数）を現在の1,000株から100株に変更することとし、あわせて当社株式について、中長期的な株価変動を勘案しつつ、投資単位を適切な水準に調整することを目的として、株式併合（10株を1株に併合）を実施するものであります。

### (2) 株式併合の内容

#### ① 併合する株式の種類

普通株式

#### ② 併合の方法・割合

平成29年10月1日をもって、平成29年9月30日（実質上9月29日）の最終の株主名簿に記録された株主様の所有株式数10株につき1株の割合で併合致します。

#### ③ 併合により減少する株式数

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 株式併合前の発行済み株式総数（平成29年3月31日現在） | 22,377,200株 |
| 株式併合により減少する株式数               | 20,139,480株 |
| 株式併合後の発行済み株式総数               | 2,237,720株  |

(注) 「株式併合により減少する株式数」および「株式併合後の発行済み株式総数」は、株式併合前の発行済株式総数および併合割合に基づき算出した理論値であります。

④ 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第235条に基づき一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して端数の割合に応じて分配いたします。

(3) 単元株式数の変更の内容

株式併合の効力発生と同時に、普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

(4) 株式併合及び単元株式数の変更の日程

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 取締役会決議日            | 平成29年4月26日 |
| 株主総会決議日(予定)        | 平成29年6月27日 |
| 株式併合及び単元株式数の変更(予定) | 平成29年10月1日 |

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が当事業年度の期首に実施されたと仮定した場合の、当事業年度における1株当たり情報は以下の通りです。

|            |        |
|------------|--------|
| 1株当たり純資産額  | 11円26銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 36円47銭 |

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成29年5月23日

株式会社ソフィアホールディングス

取締役会 御中

明治アーク監査法人

指 定 社 員 公 認 会 計 士 米 倉 礼 二 ㊞  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 森 岡 宏 之 ㊞  
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ソフィアホールディングスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。



当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ソフィアホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成29年5月23日

株式会社ソフィアホールディングス

取締役会 御中

明治アーク監査法人

指定社員 公認会計士 米倉 礼二 ㊞  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 森岡 宏之 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ソフィアホールディングスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第42期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査役会の監査報告書

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第42期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針及び同号ロの各取組み並びに会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
  - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については、指摘すべき事項は認められません。事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号ロの各取組みは、当該基本方針に沿ったものであり、当社の株主共同の利益を損なうものではなく、かつ、当社の会社役員地位の維持を目的とするものではないと認めます。
- ⑤ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人明治アーク監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人明治アーク監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成29年5月25日

株式会社ソフィアホールディングス 監査役会

常勤監査役 樋 笠 也寸志 印

社外監査役 伊 藤 雅 浩 印

社外監査役 川 島 涉 印

以 上

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 株式併合の件

#### 1. 株式併合を必要とする理由

全国証券取引所は、「売買単位の集約に向けた行動計画」を発表し、全ての国内上場会社の普通株式の売買単位（単元株式数）を100株に統一することを目指しております。

当社は、東京証券取引所に上場する企業として、その趣旨を尊重し、当社株式の売買単位を1,000株から100株に変更することといたします。併せて、当社株式につき、証券取引所が望ましいとしている投資単位の水準（5万円以上50万円未満）にするとともに、発行済み株式の総数の適正化を図るため、株式の併合を実施するものであります。

#### 2. 併合割合

当社普通株式について、10株を1株に併合いたします。

なお、併合の結果、1株に満たない端数が生ずるときは、会社法第235条に基づき一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

#### 3. 株式の併合がその効力を生じる日

平成29年10月1日

#### 4. 上記3の日における発行可能株式総数

8,800,000株

#### 5. その他

本議案に係る株式併合は、第2号議案「定款一部変更の件」が承認されることを条件といたします。

なお、その他手続き上必要な事項につきましては、取締役会にご一任願いたいと存じます。

## 第2号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

第1号議案「株式併合の件」が原案どおり承認可決されることを条件として、株式併合の割合に応じて発行可能株式総数を減少させるため、現行定款第6条（発行可能株式総数）を変更するとともに、全国証券取引所における「売買単位の集約に向けた行動計画」への対応として、単元株式数を現在の1,000株から100株に変更するため、現行定款第7条（単元株式数）を下記のとおり変更するものであります。

なお、本変更につきましては、第1号議案における株式併合の効力発生日である平成29年10月1日をもって効力が発生する旨の附則第2条を設け、当該効力発生日をもって本附則を削除いたします。

### 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

| 現 行 定 款                                                                                                                                         | 変 更 案                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (発行可能株式総数)<br>第6条 当社の発行可能株式総数は、<br>88,000,000株とする。<br>(単元株式数)<br>第7条 当会社の単元株式数は、 <u>1,000株</u><br>とする。<br>附則<br>この定款は、平成27年6月26日に変更された。<br>(新設) | (発行可能株式総数)<br>第6条 当社の発行可能株式総数は、<br><u>8,800,000株</u> とする。<br>(単元株式数)<br>第7条 当会社の単元株式数は、 <u>100株</u><br>とする。<br>附則<br>第1条 この定款は、平成29年6月27<br>日に変更された。<br>第2条 <u>第6条及び第7条の変更は、平成</u><br><u>29年10月1日をもって効力を</u><br><u>生じるものとし、同日をもって本</u><br><u>附則本条を削除する。</u> |

### 第3号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（4名）は本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                 | 氏名<br>(生年月日)                                         | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社株式の数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1                                                                                                                                                                                                     | い<br>新<br>むら<br>直<br>な<br>お<br>き<br>樹<br>(昭和47年2月6日) | 平成19年8月 さくらインターネット(株) 入社<br>平成20年9月 (株)DOMIRU (現(株)クラスト)入社<br>平成24年2月 (株)ソフィアモバイル 入社<br>平成25年4月 当社 入社<br>平成25年11月 (株)オルタエンターテイメント<br>代表取締役 (現任)<br>平成26年12月 (株)ナノメディカル 取締役 (現任)<br>平成27年3月 (株)サルース 取締役<br>平成27年4月 (株)アクア 取締役 (現任)<br>平成27年6月 ソフィア総合研究所(株)<br>取締役 (現任)<br>平成27年6月 (株)メディカルコンピューターサービス<br>取締役 (現任)<br>平成28年3月 当社 代表取締役 (現任) | —          |
| (取締役候補者とした理由)<br>当社グループ会社入社以来、当社及び当社グループ会社の取締役として、経営全般に携わっております。また平成28年3月の代表取締役就任以降は、会社業績を早急に回復すべく陣頭に立ち、平成29年3月期の黒字転換を果たすなど手腕を発揮しております。これらのことから、今後の当社グループの企業価値向上に必要な人材と判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |
| 2                                                                                                                                                                                                     | や<br>山<br>だ<br>あつし<br>淳<br>(昭和45年9月11日)              | 平成4年4月 神田通信工業(株) 入社<br>平成5年10月 富士通(株) 入社<br>平成7年4月 (株)クリエイティブライト 入社<br>平成13年4月 (株)光通信 入社<br>平成24年2月 (株)ソフィアモバイル 入社<br>平成24年8月 (株)ソフィアモバイル 代表取締役<br>平成27年6月 当社 取締役 (現任)<br>平成28年3月 ソフィア総合研究所(株) 代表取締役<br>平成28年3月 (株)メディカルコンピューターサービス<br>代表取締役 (現任)<br>平成28年3月 (株)ナノメディカル<br>代表取締役 (現任)<br>平成29年4月 ソフィア総合研究所(株)<br>取締役 (現任)                 | —          |
| (取締役候補者とした理由)<br>長年にわたり営業に携わり、当社グループ会社入社後は、当社及び当社グループ会社の取締役として経営全般にも携わっております。また現在は成長戦略事業である健康医療介護情報サービス事業を推進しております。これらのことから、今後の当社グループの企業価値向上に必要な人材と判断し、引き続き当社取締役としての選任をお願いするものであります。                  |                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |



| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                           | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社株式の数 |
|-------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3     | たか はし しげ ひろ<br>高 橋 林 広<br>(昭和48年7月31日) | 平成8年4月 (株)日本テレビビデオ(現(株)日テレアックスオン) 入社<br>平成16年4月 日本インタラクティブ映像コミュニケーションズ(株) 入社<br>平成17年4月 ソフィア総合研究所(株) 入社<br>平成19年6月 ソフィア総合研究所(株) 取締役<br>平成26年6月 ソフィア総合研究所(株) 代表取締役<br>平成27年4月 (株)DMM.com 入社<br>平成28年4月 ソフィア総合研究所(株) 取締役<br>平成28年6月 当社 取締役(現任)<br>平成29年4月 ソフィア総合研究所(株) 代表取締役(現任) | 2,000株     |
|       |                                        | (取締役候補者とした理由)<br>当社グループのコア事業であるインターネット関連事業において豊富な経験を有しており、当社および当社グループ会社の取締役として、既存事業の収益拡大や、新たな需要の創造に向けた製品開発に実績があります。これらのことから、今後の当社グループの企業価値向上に必要な人材と判断し、引き続き当社取締役としての選任をお願いするものであります。                                                                                           |            |
| 4     | すず き のり お<br>鈴 木 規 央<br>(昭和46年6月8日)    | 平成5年10月 太田昭和監査法人(現 新日本有限責任監査法人) 入所<br>平成9年3月 公認会計士登録(現任)<br>平成14年4月 パートナーズ国際会計事務所 入所<br>平成18年10月 弁護士登録(現任)<br>平成18年10月 シティユーフ法律事務所 入所<br>平成22年10月 認定事業再生士登録(現任)<br>平成26年12月 (株)うるる 社外監査役(現任)<br>平成27年6月 当社 社外取締役(現任)                                                           | -          |
|       |                                        | (社外取締役候補者とした理由)<br>過去に会社経営に直接関与した経験はありませんが、弁護士及び公認会計士としての豊富な専門知識と経験を有しており、その経験を主にコンプライアンスの観点から有益なアドバイスをいただけるものと期待し、選任をお願いするものであります。                                                                                                                                            |            |

- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 鈴木規央氏は、社外取締役候補者であります。
3. 鈴木規央氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本株主総会終結の時をもって2年となります。
4. 当社は、社外取締役候補者である鈴木規央氏が再任された場合、同氏との間で現在締結している責任限定契約を継続する予定であります。
- なお、その契約内容の概要は次のとおりであります。
- 社外取締役が任務を怠ったことによって損害賠償責任を負う場合は、会社法第425条第1項の最低責任限度額を限度として、その責任を負う。
  - 上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものとする。

#### 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

監査役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備えて、あらかじめ補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                                                                                       | 略歴及び重要な兼職の状況                                                                                                             | 所有する当社株式の数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 宇賀村彰彦<br>(昭和49年9月4日)                                                                               | 平成10年10月 中央監査法人 入所<br>平成14年4月 公認会計士登録(現任)<br>平成21年9月 弁護士登録(現任)<br>平成21年9月 鳥飼総合法律事務所 入所<br>平成28年1月 和田倉門法律事務所<br>パートナー(現任) | —          |
| (社外監査役候補者とした理由)<br>弁護士及び公認会計士としての豊富な専門知識と経験を有しており、その経験を当社の監査体制の強化に活かしていただけるものと期待し、選任をお願いするものであります。 |                                                                                                                          |            |

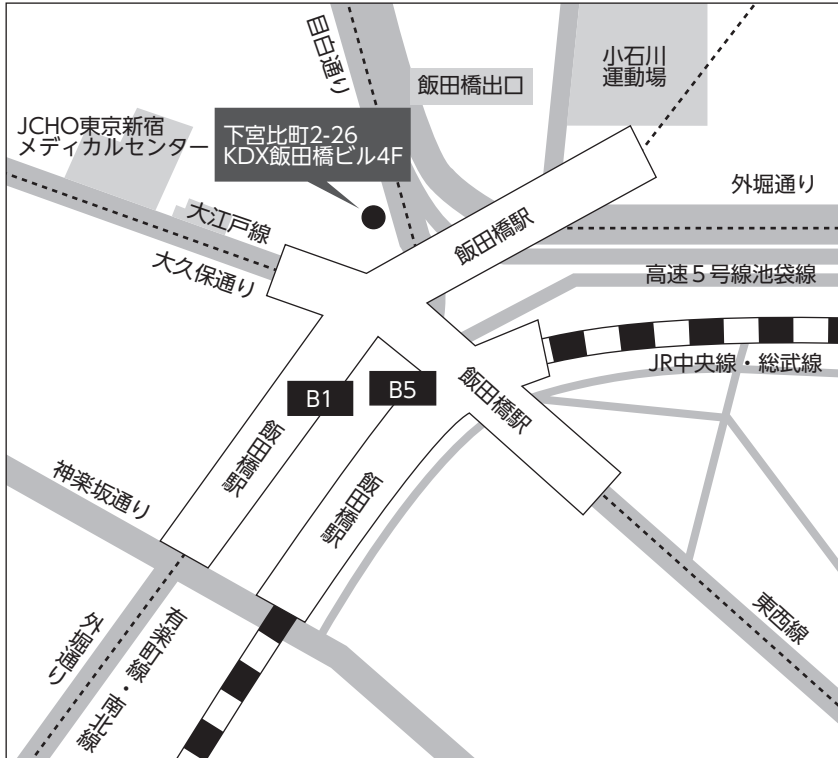
- (注) 1. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。  
2. 宇賀村彰彦氏は、補欠の社外監査役候補者であります。  
3. 当社は、社外監査役候補者である宇賀村彰彦氏が社外監査役に就任した場合、同氏との間で責任限定契約を締結する予定であります。  
なお、その契約内容の概要は次のとおりであります。
- ・社外監査役が任務を怠ったことによって損害賠償責任を負う場合は、会社法第425条第1項の最低責任限度額を限度として、その責任を負う。
  - ・上記の責任限定が認められるのは、当該社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものとする。

以 上



# 株主総会会場ご案内図

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2番26号  
KDX飯田橋ビル4階 第5会議室



## ●交通

J R 飯田橋駅 東口より徒歩約5分  
地下鉄 飯田橋駅 B-1出口より徒歩約5分



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。